

令和5年度 重点目標の取り組みと成果

はじめに

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の対応が緩和に向けた生活に移行しようとなりました。一方で、エネルギー価格や物価の高騰は私たちの日常生活を圧迫する事態となっています。

このような状況において、地域福祉を推進する中核的な機能を持つ組織である本会では、市や関係機関と連携しながら住民参加による地域福祉活動を展開してきました。

地区社協の事業では、コロナで途切れたつながりの再構築を目指した事業展開が行われています。フードロスの考え方が一般化してきたことで食品の寄贈などのご協力が増え、子ども食堂等への支援に活かすことができました。

生活福祉資金の貸付では、通常の制度に加え、生活福祉資金の特例貸付を受けた後も生活を立て直すのが困難な方を対象にしたフォローアップ支援事業を開始しました。

児童館（放課後児童クラブ）事業では、児童厚生員や児童クラブ支援員の確保に努めました。人材不足にならないよう、待遇改善と子育ての拠点としての魅力や働き甲斐のある職場づくりの推進に努めています。

令和5年度は、次の重点目標を掲げて事業を推進しました。

1 第4次地域福祉活動計画の推進

第4次地域福祉活動計画（計画期間：令和4～8年度）を円滑に進めるため、18の取組ごとに推進スケジュールを作成し、局内で進行管理会議及び外部の有識者による地域福祉活動推進会議を開催し、取組の進捗状況を報告しました。

2 中期経営計画の推進

中期経営計画（計画期間：令和4～8年度）を円滑に進めるため、組織、財務、人材に関する26の実施項目の推進を図りました。

3 権利擁護事業の拡充

認知症高齢者や知的障がい者及び精神障がい者など、金銭管理等を支援する日常生活自立支援事業と合わせ、家庭裁判所の承認を得ながら財産管理等の支援を行う法人後見事業を実施しています。また、成年後見制度利用促進のための中核機関を受託し、相談や普及啓発を行いました。

4 重層的支援体制整備事業への協力

福井市が進める福祉総合相談体制と連携・協働し、地域づくりの体制整備、社会参加の支援体制整備の一部を担うべく、職員の相互研修の実施、地域づくり等についての情報交換を行いました。

5 「当事者」の声を聴き、「当事者」となって地域社会を築く

誰もが取り残されずに参加できる地域づくりに向けて、本会のすべての取り組みで理解者・協力者を増やす実践を進めました。

令和5年度 事業報告

I 法人運営事業

< 拠点区分1 >

1 法人運営事業

公益性の高い法人として、透明かつ公正な運営を行うため、理事会で諸課題を協議するとともに、法人運営や会計処理を適正に行うため、法律、会計の専門家の協力を得て適正な運営に努めた。また、財政の健全化を図るため、中期経営計画の推進項目に取り組んだ。

(1) 三役会 (3回)

- ① 令和5年 5月31日(水) 福井市民福祉会館 ボランティアルームB
- ② // 9月14日(木) 福井市民福祉会館 ボランティアルームB
- ③ 令和6年 3月4日(月) 福井市民福祉会館 301号室

また、職員提案の地域課題に即した新たな事業を、三役とともに討論する「新事業創造会議」を開催した。

令和5年 12月22日(金) 福井市民福祉会館 301号室

(2) 理事会 (10回)

- ① 第1回 令和5年4月1日(土) 決議の省略の方法にて開催
 - 第1号議案 補欠の理事候補者の推薦について
 - 第2号議案 補欠の評議員候補者の推薦について
 - 第3号議案 第1回評議員会の開催について
 - 第4号議案 第1回評議員選定委員会の開催について
- ② 第2回 令和5年4月1日(土) 決議の省略の方法にて開催
 - 第5号議案 専務理事の選任について
- ③ 第3回 令和5年6月7日(水) バンケットルーム ウエルアオッサ
 - 第6号議案 任期満了に伴う理事及び監事候補者の推薦について
 - 第7号議案 補欠の評議員候補者の推薦について
 - 第8号議案 第2回評議員選定委員会の開催について
 - 第9号議案 表彰規程の一部改正について
 - 第10号議案 令和4年度福井市社会福祉協議会事業報告及び決算の承認について
 - 第11号議案 令和5年度資金収支第1次補正予算の同意について
 - 第12号議案 令和5年度第2回評議員会の開催について
- ④ 第4回 令和5年6月30日(金) 福井県社会福祉センター 大会議室
 - 第13号議案 会長の選任について
 - 第14号議案 副会長の選任について
 - 第15号議案 専務理事の選任について

- ⑤ 第5回 令和5年9月29日（金）福井市民福祉会館 ボランティアルームA
 第16号議案 令和5年度 資金収支第2次補正予算の同意について
 第17号議案 令和5年度 第3回 評議員会の開催について
 報告事項 職務執行状況及び事業の進捗状況について
- ⑥ 第6回 令和6年1月22日（月）決議の省略の方法にて開催
 第18号議案 後任の理事候補者の推薦について
 第19号議案 後任の評議員候補者の推薦について
 第20号議案 第4回評議員会の開催について
 第21号議案 第3回評議員選定委員会の開催について
- ⑦ 第7回 令和6年1月22日（月）決議の省略の方法にて開催
 第22号議案 副会長の選任について
- ⑧ 第8回 令和6年3月13日（水）福井市民福祉会館 ボランティアルームA
 第23号議案 令和5年度 資金収支第3次補正予算の同意について
 第24号議案 後任の評議員候補者の選任について
 第25号議案 第4回評議員選定委員会の開催について
 第26号議案 経理規程の一部改正について
 第27号議案 事務局の組織に関する規程の一部改正について
 第28号議案 職員給与規程の一部改正について
 第29号議案 非常勤職員の就業に関する規則の一部改正について
 第30号議案 地域福祉基金の一部処分について
 第31号議案 令和6年度資金運用計画について
 第32号議案 令和6年度事業計画並びに資金収支予算の同意について
 第33号議案 令和5年度第5回評議員会の開催について
- ⑨ 第9回 令和6年3月18日（月）決議の省略の方法にて開催
 第34号議案 後任の理事候補者の推薦について
 第35号議案 後任の監事候補者の推薦について
 第36号議案 後任の評議員候補者の推薦について
 第37号議案 第6回評議員会の開催について
 第38号議案 第5回評議員選定委員会の開催について
- ⑩ 第10回 令和6年3月28日（木）決議の省略の方法にて開催
 第39号議案 副会長の選任について
- ⑪ 役員研修（現場視察）
 1回目 令和6年2月7日（水）自治会型デイホーム、ふらっとベル
 2回目 令和6年2月27日（火）児童館・児童クラブ

(3) 評議員会 (6回)

- ① 第1回 令和5年4月1日(金) 決議の省略の方法にて開催
第1号議案 補欠の理事の選任について

- ② 第2回 令和5年6月30日(金) 福井県社会福祉センター 第1、2研修室
第2号議案 任期満了に伴う理事及び監事の選任について
第3号議案 令和4年度福井市社会福祉協議会事業報告及び決算の承認について
第4号議案 令和5年度資金収支第1次補正予算の承認について
報告事項 第1回評議員選定委員会の結果について
報告事項 第2回評議員選定委員会の結果について

- ③ 第3回 令和5年10月10日(金) 決議の省略の方法にて開催
第5号議案 令和5年度資金収支第2次補正予算の承認について

- ④ 第4回 令和6年1月22日(月) 決議の省略の方法にて開催
第6号議案 後任の理事の選任について

- ⑤ 第5回 令和6年3月27日(水) 福井市民福社会館 301号室
第7号議案 令和5年度資金収支第3次補正予算の承認について
第8号議案 地域福祉基金の一部処分について
第9号議案 令和6年度事業計画並びに資金収支予算の承認について
報告事項 第3回評議員選定委員会の結果について
報告事項 第4回評議員選定委員会の結果について

- ⑥ 第6回 令和6年3月28日(木) 決議の省略の方法にて開催
第10号議案 後任の理事の選任について
第11号議案 後任の監事の選任について

(4) 評議員選定委員会の開催 (5回)

- ① 第1回 令和5年 4月1日(土) 決議の省略の方法にて開催
- ② 第2回 令和5年 6月12日(月) 決議の省略の方法にて開催
- ③ 第3回 令和6年 1月22日(月) 決議の省略の方法にて開催
- ④ 第4回 令和6年 3月13日(水) 決議の省略の方法にて開催
- ⑤ 第5回 令和6年 3月18日(月) 決議の省略の方法にて開催

(5) 監査の実施

監事監査 令和5年5月23日(火) 福井市社会福祉協議会 会議室

(6) 会計事務所による定期訪問監査 (4回)

(7) 顧問弁護士の配置

- (8) 職員総数 478名 (令和6年3月31日現在)
- 事務局職員 30名 (常勤18名、市派遣2名、非常勤10名)
 - 事業職員 448名 (非常勤職員)
 - 児童館 (館長、児童厚生員) 84名
 - 児童クラブ職員 (支援員) 285名
 - 自治会型デイホーム事業専任職員等 45名
 - 日常生活自立支援事業生活支援員 34名

(9) 自主財源の確保

① 社協活動の説明状況

- 地区自治会連合会 7回 (前年度14回)
- 地区社協の総会など 3回 (前年度0回)

② 会員会費の募集

会員会費募集の実績

区 分	実 績 額	前年度との比較
一般会費 (年額500円/世帯)	34,411,482円	△151,666円
賛助会費 (1口1,000円/個人)	8,564,771円	△436,829円
特別賛助会費 (1口10,000円/法人・企業)	6,570,000円	26,000円
合 計	49,564,253円	△562,495円

※特別賛助会員加入企業数 519社 (前年度 559社)

③ 寄附金

203件 633,252円 (前年度 186件 10,619,632円)

(10) 福祉サービスに関する苦情解決事業の状況

苦情受付件数 27件 (前年度 27件)

〈 苦情申出人の属性区分 〉

サービス利用者 本人	1件
サービス利用者 家族	22件
自治会関係者	0件
地区社協役員	0件
福祉委員	0件
一般市民	4件
その他	0件
合 計	27件

〈 苦情の事業区分 〉

会員会費募集	0 件
地域福祉推進事業	1 件
自治会型デイホーム事業	0 件
ボランティア活動推進事業	0 件
児童館事業	2 件
放課後児童クラブ事業	24 件
共同募金	0 件
合 計	27 件

〈 苦情の内容区分 〉

サービス、ケアの内容に関わる事項	15 件
職員の接遇に関わる事項	14 件
制度、施策、法律に関わる事項	2 件
その他	3 件
合 計	34 件

※ 1 件の苦情で複数の苦情内容に該当するものがあるため、苦情総件数と合計は一致しない。

(11) 広報啓発活動の推進

- ① 社協だより「まごころ」の発行 年 4 回 各 82,500 部(全戸配布)
- ② 点訳社協だよりの発行 年 4 回 各 27 部
- ③ 音訳社協だよりの発行 年 4 回 各 2 本
- ④ 社協のごあんない発行 年 1 回 19,000 部
- ⑤ ホームページ(<http://www.fukuic-shakyo.jp/>)での情報提供
- ⑥ Facebook(<https://www.facebook.com/fukuic.shakyo/>)での情報提供
- ⑦ YouTube (ふくみんチャンネル)での情報提供
- ⑧ 福井市社会福祉功労者表彰式(市と共催)

開催日 令和 5 年 10 月 13 日(金)

会 場 福井市民福祉会館 2 階 小ホール

- ・ 市長表彰 21 名
- ・ 市社協会長表彰 1 団体 85 名
 - 社会福祉施設功労者 39 名
 - 社会福祉協議会・社会福祉団体関係功労者 6 名
 - 退職役職員等社会福祉功労者 2 名
 - 永年勤続功労者 21 名
 - ボランティア功労者 1 団体 15 名
 - 福祉委員功労者 2 名

(12) 中期経営計画の推進

- ① 令和 5 年度の進捗状況

資料 1 参照

実施計画に基づき、取り組み項目、目標値の実現に向けて取り組んだ。

(13) 人事評価の実施

事務局常勤職員に対して目標管理による人事評価を行った。

(14) 衛生委員会の開催

職場での時間外勤務の縮減、交通安全対策（アルコールチェック等）、ストレスチェックの実施等について協議した。（6回）

(15) ストレスチェックの実施

労働安全衛生法の規定に基づき、ストレスチェックを実施した。
実施期間 令和5年11月1日（火）～30日（木）

(16) 法人連携の推進

① 福井県内社会福祉法人連携事業推進協議会への継続加入

② ふく福くらしサポート事業

近隣地域住民の生活上の困りごとに関する総合相談に対応した。

【支援実績】 0回（0名） 【前年度 7回（4名）】

【経済支援実績】 0回（0円） 【前年度 4回 76,592円】

(17) 他団体・機関との連携の推進

福井刑務所との社会貢献作業についての相互支援協定に基づき、児童用車いすのメンテナンスを依頼した。（8月、3月）

2 基金運営事業

地域福祉基金の一部を取崩し、地区社協活動啓発ふれあい事業に充当した。

(1) 地域福祉基金運営事業

基金残高 356,303,285円（前年度 358,218,991円）

(2) 災害ボランティア基金運営事業

基金残高 1,770,330円（前年度 1,886,306円）

Ⅱ 地域福祉推進事業

< 拠点区分2 >

1 地域福祉活動推進事業

誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めるため、地区社協を核に、福祉委員、民生委員児童委員、自治会などの関係者に対し、地域づくりに取り組む支援を行った。

今年度は、福祉委員インタビュー動画を制作し、ICTを活用した地域福祉活動の推進を行った。

第4次地域福祉活動計画の事業を推進するため、取り組みスケジュールに沿って、16の取組について、企画、調整、実施を行った。

また、この活動計画に係る地域福祉活動推進会議を開催して、進行管理、評価を行い、次年度に向けての改善につなげた。

(1) 地区社協の育成支援

地域に根ざした地域福祉活動を推進する地区社協への、相談・助言等の支援を行うとともに活動費の補助を行った。

① 地区社協ブロック担当制による支援強化、地区社協会議への参加・支援

地区社協との連携を図るブロック担当職員(他業務と兼務)を配置し、各地区社協が行う各種地域福祉活動への助言や支援、情報提供を行った。

ブロック地区社協担当者会議の開催 年12回

② ブロック会議等を通じた情報交換と活動の充実

③ 地区社協課題解決ミーティングの開催 1地区

地区社協役員・事務局と、地区社協の運営や各地区の福祉課題について意見交換し、今後の活動について検討した。

④ 地区社協運営・事業推進のための助成

地区社協育成補助金、地域福祉活性化事業助成金、福祉委員活動推進事業補助金、地区社協活動 啓発・ふれあい事業補助金、食事サービス事業補助金、自治会型デイホーム事業補助金、ブロック地区社協育成補助金

(2) ひとり暮らし高齢者等の見守り支援活動の推進強化

① 福祉委員委嘱式及び研修会の開催

一部任期途中交代の新任福祉委員に対し、地区社協単位で福祉委員委嘱式を行った。また、研修の際には、福祉委員の役割等を紹介した動画を活用した。

② 福祉委員スキルアップ研修会

【活動計画No.17】

※講師の体調不良により中止

日時 令和5年10月25日(水) 13:30~15:30

会場 福井県自治会館 多目的ホール

内容 講義と演習「楽しみながら福祉委員活動をするために」
～地域のゆるやかなつながりを再発見～

講師 公益財団法人長野県長寿社会開発センター

主任シニア活動推進コーディネーター 戸田 千登美 氏

③ 地域包括支援センター等関係機関との連携

地域包括支援センターと地区社協・市社協との連携を図った。一部、地域ケア会議に出席し、支援方法の協議やグループワークを行うなど、地域課題についての話し合いへの参加や、事業所対象の研修会に協力するなどした。

④ 地区社協単位で福祉委員と民生委員児童委員、自治会長、保健衛生推進員及び見守り関係者と研修、情報交換の場の設定（38 地区 66 回） 資料 2 参照

ひとり暮らし高齢者等の見守り支援を強化するため、福祉委員の基本的な役割についての研修や、支え合いマップを使用しての情報交換会、地域包括支援センターとの連携、地区に応じた福祉委員及び見守り関係者のスキルアップのための研修会の講座等を行った。

⑤ 自治会型デイホーム事業、食事サービス事業を通じた見守りの実施

⑥ 支え合いマップ作成のためのツールの提供及び活用の支援

福祉委員・民生委員児童委員等合同研修会でのひとり暮らし高齢者等の見守り支援のための媒体として、支え合いマップを希望する地区へ提供した。
令和 5 年度末現在、37 地区が支え合いマップを活用している。

⑦ 福祉委員インタビュー動画の制作 【活動計画No.14】

地域の見守り・支え合い活動を広めていくため、福井市内で活躍の福祉委員 2 名に福祉委員になられた「きっかけ」や活動中での「気づき」などインタビューし、動画として市社協の公式 YouTube 「ふくみんチャンネル」で公開した。

⑧ 福井市あんしん見守りネットワークへの協力

地域団体（自治会、民生委員児童委員、地区社協、保健衛生推進員等）と各種協力事業者（新聞配達、運輸運送業者、ガス・水道事業者、介護サービス事業者等）による高齢者等への見守りネットワークづくりに参画した。

⑨ 福祉委員見守り活動アンケート調査の実施

今回、初めて Google フォームを活用し、全福祉委員に対し見守り活動アンケート調査を実施し、811 人から回答を得た。何らかの形で見守り活動を行っている（過去に行っていた）方は、回答者の約 7 割だった。

⑩ あったかメッセージの募集と発信

見守り活動者から声をかけられている地域の方々（主に高齢者）に、ほっこりしたエピソードや見守り活動への励ましなどのメッセージを募集し、171 通の応援メッセージが届いた。また、メッセージは、社協だより「まごころ」やホームページ等にて広報した。

(3) 地区社協連絡協議会、ブロック地区社協の育成支援

理事会、連絡会、ブロック会議を通じ市社協と地区社協の連携を深めた。地区社協相互の情報交換を図りながら、地区社協連絡協議会を支援した。

① ブロック地区社協活動補助金の交付

② 地区社協連絡協議会理事会の開催 4回(5、8、12、3月)

③ 広報紙「むすんでひらいて」の発行 2回(9、3月)

④ 地区社協活動説明会 詳細版

開催日 令和5年5月11日(木)

会場 福井市民福祉会館ボランティアルームA、301号室

内容 地区社協活動の基本説明

会費・共募について

啓発・ふれあい事業、食事サービス事業について

デイホーム事業について

地区社協会計事務について

地区社協事務について

地区社協専用ホームページについて

参加者 地区社協事務局担当者等

⑤ 地区社協会長情報交換会

開催日 令和5年7月7日(金)

会場 福井県社会福祉センター4階 第1・2研修室

内容 「地域福祉活動の担い手や事業の継承について考える」情報交換・意見交換

参加者 地区社協会長34名

⑥ 見守り活動に関する研修会

開催日 令和5年8月7日(月)

会場 福井県自治会館 多目的ホール

内容 講義 テーマ「みんなで支え合う地域福祉活動～防災の観点を取り入れた見守りについて～」

講師 北陸学院大学 教授 田中 純一 氏

参加者 地区社協関係者80名

(4) 地区社協活動 啓発・ふれあい事業

資料3参照

地区社協の存在の周知、地区社協活動の理解、活動への参加を勧誘することを目的に、各地区社協で参加交流事業、広報事業を行った。また、各地区でふれあい福祉まつりを開催し、展示物で地区社協活動の紹介を行った。

① ふれあい福祉まつり

地区社協単位で45地区がふれあい福祉まつりを開催した。地区社協の活動紹介、共同募金運動の広報を必須とし、それ以外にも「福祉・健康相談」「福祉用具展示」等、福祉やボランティア活動について住民へ周知を行った。

② 交流・ふれあい事業

地区の実情に応じて、児童と高齢者の交流事業等を開催した。

③ 地区広報

各地区社協の活動を地区社協だよりやパネル製作で発信した。

(5) 各種地域福祉活動の推進

① SDGs を踏まえた企業・社会福祉法人等の社会貢献活動を広める 【活動計画No.6】

ボランティア情報や社協だより「まごころ」で、企業の社会貢献活動の事例を掲載し、広く発信した。

② 中高生向けまちづくりワークショップの実施 【活動計画No.9】

「みつける！考える！福祉のまちづくりワークショップ」

	学校名	実施日	参加者
1	順化小学校 5 年生 (1 クラス)	令和 5 年 6 月 22 日 (木)	20 名
2	日新小学校 4 年生 (2 クラス)	令和 6 年 1 月 16 日 (火) 令和 6 年 1 月 19 日 (金)	40 名

③ バリアフリー&ユニバーサルデザインチェック 【活動計画 No. 1, 9】

開催日 令和 5 年 9 月 18 日 (日)

※同日開催「カーフリーデー2023 ふくい」の一環

会 場 田原町駅・鷺塚針原駅・西別院駅・福大前西福井駅 他

内 容 電車や徒歩で移動しながら、駅構内やバス停、周辺道路のバリアフリー・ユニバーサルデザインチェック。

車いすでのバス乗降体験を促し、クイズラリーでは、本会から福祉的なクイズを一つ出題した。

参加者 33 名

④ 地域防災を考える講座の開催 【活動計画 No. 16】

開催日 令和 6 年 2 月 28 日 (水)

会 場 河合公民館

内 容 情報交換

参加者 河合地区社協役員、河合地区自主防災会、公民館職員 8 名

⑤ 福祉サービス事業者との情報交換会の開催 【活動計画 No. 18】

開催日 令和 6 年 3 月 9 日 (土)

内 容 施設見学 (足羽福祉会カラフル、ほっとりハビリシステムズ福井北) と情報交換

対 象 東藤島地区社協役員

(6) 社会参加、交流の場

① 中央いきいきサロン 【活動計画No.10】

ふれあいや交流を目的としたサロンを開催し、在宅障がい者等の心身機能の向上や仲間づくりを図った。

内 容	実施日時と回数、会場	参加者
茶話会、小物作り、クリスマス会等	毎週金曜日 13:00~15:30 実施回数 47 回 会場 ボランティアルームA	延べ 370 名 (前年度延べ 310 名)

② オープンサロン ふらっとベル

【活動計画No.10】

年齢や障がいの有無に関わらず、誰でも気軽に集うことのできる場として、ショッピングセンターの空きスペースを活用したサロンをショッピングシティ・ベルに設けた。

内 容	実施日時と回数	備 考
買物ついでの休憩、おしゃべり、ちょつとした困りごと相談等	毎週火～木曜日 13:00～15:45 実施回数 139 回	延べ 1,585 名 (前年度延べ 1,332 名)

(協力いただいた社会福祉法人等)

一乗谷友愛会、おた福祉会、新清会、竹伸会、タクティクス福井

(7) 第4次地域福祉活動計画の推進

第4次地域福祉活動計画の16の取組について、企画、調整、実施を行った。

資料4参照

① 地区社協での実施に向けた働き掛けや協議

② 地域福祉活動推進会議

開催日 令和5年12月7日(木)

会 場 福井市民福祉会館ボランティアルームA

内 容 第4次地域福祉活動計画推進状況と令和6年度の予定他

(8) 重層的支援体制整備事業への協力

市福祉総合相談室よりそいと情報交換し、今後の取組や連携について協議した。

2 自治会型デイホーム事業

デイホームの利用者や活動内容は徐々にコロナ禍以前に戻ってきている。専任職員、協力者を対象に、高齢者のフレイル予防について、福井市フレイルトレーナーや作業療法士、歯科衛生士を講師に迎え研修を行った。ボランティアの協力を得ながら、見守り活動を兼ねた介護予防、フレイル予防の普及啓発に取り組んだ。

また、デイホーム実施時は安全で安心して参加できる環境づくりやデイホームメニューを行った。

(1) 実施地区と実施回数・実施箇所数

資料5参照

① 実施地区 49地区(51区域)で実施

② 実施回数・実施箇所数

実施回数 延べ 3,660回 (前年度 延べ 3,577回)

実施箇所数 467か所 (前年度 456か所)

③ 参加人数 延べ 51,421名 (前年度 延べ 47,952名)

利用者数 延べ 40,566名 (前年度 延べ 35,907名)

実人数 8,036名 (前年度 7,573名)

協力者数 延べ 13,503名 (前年度 延べ 11,939名)

その他 延べ 1,055名 (前年度 延べ 106名)

④ 参加率 65歳以上参加率 9.5% (前年度 9.8%)

75歳以上参加率 12.7% (前年度 12.8%)

(2) 実施内容

① 必須メニュー

転倒骨折予防を目的とした「ふくいのだんどこ体操」と、認知症予防基本メニューを実施した。

また、毎月「デイホーム健康情報」を作成し、参加者に配布して介護予防、健康づくりへの意識を高めた。

② 通常メニュー

感染予防対策を講じながら、毎年実施する利用者アンケートも参考に、健康体操やレクリエーション・ゲーム・創作活動などを行った。

デイホームの中止が相次ぐ中、自宅でも取り組める体操などを取り入れ、フレイル予防につながる内容を行った。

③ 防火教室、交通安全教室、消費者出前講座

消防局	防火・救急法教室	8地区	延べ	20回
警察署	防犯教室	9地区	延べ	20回
警察署	交通安全教室	11地区	延べ	26回
市自転車利用促進課	交通安全教室	25地区	延べ	115回
市消費者センター	出前講座	11地区	延べ	23回
市政出前講座		5地区	延べ	10回

④ 「おうちでもデイホームセット」を活用した見守り及びフレイル予防の実施

気象状況等で中止となった会場エリアの利用者や参加を控えている利用者を対象に、間違い探しや創作キットなどの脳トレ資料と健康情報、自宅でも取り組める体操などの資料を組み合わせ「おうちでもデイホームセット」として配布。見守り活動を兼ねた活動として行った。

実施地区 35 地区

実施者 延べ 937 名

協力者 延べ 86 名

(3) 自治会型デイホーム事業運営委員会

各地区社協単位で開催 49地区社協 計114回

(4) 会議・研修会

① 専任職員定例会の開催 年8回

② 専任職員採用予定者研修

令和6年2月13日(火)～16日(金) 4日間 新規採用 2名

③ 専任職員研修会

第1回 開催日 令和5年7月24日(月) 参加者 43名

内 容 講義・実技 「フレイルとは～フレイルチェックの実際～」

講 師 福井市フレイルトレーナー 細川 昌樹氏

- 第2回 開催日 令和5年9月25日(月) 参加者 44名
 内 容 講義「地域で取り組んでいる介護予防の事例」
 講 師 福井市フレイルトレーナー
 理学療法士 細川 昌樹 氏
- 第3回 開催日 令和5年11月27日(月) 参加者 43名
 内 容 講義・実技「これからの生きがいと私たちができること
 ～健康づくりを通して～」
 講 師 一般社団法人 福井県作業療法士会 田嶋 神智 氏

④ 自治会型デイホーム協力者研修会

- 開催日 令和5年7月10日(月) 参加者 66名
 会 場 福井県自治会館 2階 多目的ホール
 内 容 講義・実技「オーラル(口腔)フレイル予防」
 講 師 一般社団法人 福井県歯科衛生士会 笹木 明美 氏

(5) 利用促進事業

DVD プレーヤー及びプロジェクター、スクリーン等を貸し出し、各種講座を開催した。また、教養講座として、介護予防のための体操講座、フラワーアレンジメント講座や和菓子講座等を開催し、利用促進を行った。

- 貸出実績 3回(前年度1回)
 教養講座回数 15回(前年度24回)

3 ふれあい食事サービス事業

希望するひとり暮らし高齢者等の健康増進、孤独感の解消、見守り活動を目的に49地区社協が実施主体となり、食事サービス事業を実施した。

会食会や調理したお弁当また、業者の弁当を配布した。

(1) 実施回数、食数 ※ () 内の数字は前年度実績

実施地区	49 地区	
実施回数	延べ 436 回 (440 回)	
形 態	配 食	延べ 432 回 (440 回)
	会 食	4 回 (0 回)
提供食数	延べ 13,680 食 (14,198 食)	
利用実人数	2,137 名 (2,135 名)	
協力者数	延べ 4,393 名 (2,590 名)	
運営委員会開催	延べ 153 回 (152 回)	

(2) 衛生管理・食中毒予防対策

使い捨て手袋、マスクを各地区に配布。

(3) 地域福祉リーダー研修会

- 開催日 令和5年6月8日(木) 参加者 69名
 会 場 福井県自治会館 2階 多目的ホール
 内 容 講義「食事サービスにおける衛生管理」
 講 師 福井市保健所 生活衛生課職員

4 ボランティアセンター事業

若い世代のボランティア参加を促進するため、高校生向けのボランティア体験を実施し、ボランティア活動への参加の機会を設けた。

また、ボランティアルーム等の利用促進やボランティア講座の開催により、活動の機会の提供を行った。

さらに、地域ぐるみで福祉教育を推進する時は、学校等と協議しながら福祉体験プログラムの充実に努めた。

市総合ボランティアセンターの運営や連携について定期的な協議の場を設けた。

(1) ボランティアセンターの運営

① ボランティアセンターの利用件数 543 件（前年度 546 件）

② ボランティアの需給調整

※（ ）は前年度の数字

項目	件数	備考
1. ボランティア相談	224 件 (246 件)	
i ボランティア活動希望	13 件 (50 件)	
ii ボランティア派遣希望	132 件 (105 件)	
iii その他の相談	79 件 (91 件)	企画相談、預託等
2. ボランティア相談マッチング数	196 件 (224 件)	
i 活動紹介	134 件 (146 件)	
ii 情報提供	53 件 (57 件)	
iii 他機関紹介	3 件 (4 件)	
iv 広報	4 件 (7 件)	
v その他	2 件 (10 件)	

③ 福井市社協ボランティアセンター新規登録者数 2 名

④ ボランティア活動者の把握数

※（ ）は前年度の数字

個人	—	744 名 (533 名)
団体	287 団体 (271 団体)	10,831 名 (10,606 名)
合計	287 団体 (271 団体)	11,575 名 (11,139 名)

⑤ 物品の預託

個人・団体・企業等から、飲料水・タオル・使用済み切手・使用済みテレカ他の物品の預託を受入し、福祉施設・団体・ボランティア活動者等へ払い出した。

⑥ ボランティア講座の開催

ア お話し相手ボランティアスキルアップ研修

開催日 令和 6 年 3 月 16 日 (土)

会場 福井市民福祉会館 4 階ボランティアルーム A

内容 事例を基に意見交換、情報交換など

講師 藤田 正一 氏 (ヒューマンサポートセンター・ネスト代表)

参加者 延べ 12 名

イ ブックサイクルと絵本の読み聞かせ 【活動計画 No. 5】

(ア) 準備ボランティア

開催日 令和5年8月3日(木)、8月10日(木)、18日(金)

会場 福井市民福祉会館4階ボランティアルームA

内容 当日に向けての絵本の消毒、本棚づくり、看板づくり

参加者 高校生延べ17名

その他 児童書の寄附20箱(市内1企業等から協力)

(イ) 当日ボランティア

開催日 令和5年9月3日(日)

会場 ショッピングシティ・ベル2階特設会場

内容 ブックサイクル、絵本の読み聞かせ、エプロンシアター等

参加者 5名

来場者 約201名

ウ ボランティアコーディネーション研修 【活動計画 No. 17】

(ボランティア受入スキルアップ研修、市総合ボランティアセンター共催)

開催日 令和6年2月22日(木)

内容 講義、グループワーク

講師 福井県立大学看護福祉学部社会福祉学科助教 永井 裕子 氏

事例発表者 社会福祉法人足羽福祉会法人本部事務局ゼネラルマネージャー

蟻塚 光男 氏

だれでも食堂夕焼けこやけ代表 平良 民枝 氏

自助グループゆっくり代表 林 美紀 氏

医療法人社団オレンジマネージャー 人類学者 近藤 正朗 氏

参加者 18名

⑦ みんなとみんなの交流会 【活動計画 No. 7】

当事者団体や支援者、当事者個人が出会う機会をつくり、改めて横のつながりの大切さを認識するための交流会を開催した。お互いの活動内容や思いを知り、つながりをもつことで、それぞれの活動の発展につながった。

開催日 令和5年11月26日(日)

会場 フェニックス・プラザ3階 多目的ルーム

内容 講義、情報交換

講師 大阪ボランティア協会

ボランティアコーディネーター 青山 織衣 氏

参加者 24名

⑧ ボランティア情報の発信

ア ボランティア情報紙の発行

回数 年5回発行

部数 3,000部(ただし、社協だより発行月は3,600部)

設置先 金融機関、公民館、地区社協、高等学校等 284か所

イ ホームページ、Facebookによる情報提供(随時)

⑨ 障がい者の文化・芸術活動の情報発信【活動計画 No.8】

福井信用金庫から寄贈を受けたおやさいクレヨンの配付先を調整し、放課後等デイサービスに通う子どもたちが描いた絵画展開催の広報をした。

芸術活動の参加機会をつくっている団体等へ取材し、ボランティア情報に掲載した（2回）。また、随時展覧会開催の情報を広報した。

⑩ 雪かきボランティア受入れ窓口の開設及びボランティア募集

市内在住の障がい者や高齢者の非課税世帯で、同居又は近隣に親族・親戚等がなく自力での雪かきが困難な方を対象に12月1日から翌年3月15日まで窓口を開設した。 ※（ ）は前年度の数字

雪かきボランティア相談数	58件（60件）
ボランティア活動希望者数	11名（16名）
ボランティア依頼世帯数	4世帯＜障がい者2世帯、高齢者2世帯＞（12世帯）
ボランティア活動日数	2日（5日）
ボランティア活動者数（延べ）	16名（34名）

⑪ ボランティア連絡協議会への支援

ボランティアグループや個人ボランティアが加入し、情報交換や研修等を行っているボランティア連絡協議会の主催行事等の支援協力を行った。

ア レクレーションボッチャ大会

（令和6年能登半島地震・東日本大震災チャリティー）

開催日 令和6年3月3日（日）

会場 福井市民福祉会館2階 小ホール

イ 第45回ユニークダンスパーティー（コンサート）

開催日 令和5年12月3日（日）

会場 福井市民福祉会館2階 小ホール

⑫ 福井市民福祉会館福祉関係ボランティア団体登録利用申請（令和6年3月31日現在）

福井市民福祉会館福祉関係ボランティア団体登録（48団体）

ボランティアルーム利用人数（延べ8,386名）

利用期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

（祝日、ゴールデンウィーク、お盆期間、年末年始を除く）

⑬ ボランティア活動保険

ア 加入受付数5,465名（前年度5,968名）

イ ボランティア保険等の加入のための普及啓発

⑭ 車椅子の貸出72件（前年度74件）

⑮ マスコットキャラクター「ふくみん」着ぐるみの貸出し4件（前年度2件）

⑯ 「福井市ボランティアネット」の運営協力

(2) 福祉教育の推進

① 学校での福祉体験講座などへの支援協力

相談・コーディネート等 105 件（前年度 106 件）

② 学校での福祉体験講座（講師） 延べ 85 校（前年度 81 校）

③ 企業での福祉体験講座（講師） 延べ 2 社（前年度 2 社）

④ 中高生向けまちづくりワークショップの実施

【活動計画No.9】

※詳細は 11 ページに掲載

⑤ 教職員目的別研修（市教育委員会との共催）

開催日 令和 5 年 8 月 9 日（水）

会 場 福井県立盲学校

内 容 講義、校内見学、見えにくさ体験

講 師 岡島 喜謙 氏（福井県立盲学校教諭）

参加者 14 名

⑥ 子ども福祉委員事業の実施

【活動計画No.3】

子どもたちに地域の見守り活動に参加してもらうことで、お年寄りの存在や大切さを感じてもらうことを目的に、任命式や障がい当事者・高齢者福祉施設利用者や地区の高齢者との交流を行った。

実施校 鶉小学校 4 年生（1 クラス）

期 間 令和 5 年 9 月～12 月

内 容 任命式、講話、障がい当事者との交流体験、高齢者施設訪問と利用者との交流、地区の福祉まつりでの高齢者との交流

協力者 鶉小学校、鶉・宮ノ下地区社協、高齢者福祉施設宝珠苑（利用者・職員）、保護者、地域の高齢者

⑦ 福祉教育サポーター懇談会

開催日 令和 6 年 3 月 4 日（月）

会 場 福井市民福祉会館 4 階ボランティアルーム B

内 容 令和 5 年度の活動報告と懇談

参加者 6 名

(3) 関係機関団体との連携、協働活動の推進

福井市総合ボランティアセンター運営委員会への参加

第 1 回 開催日 令和 5 年 5 月 24 日（水）

内 容 総合 VC 令和 5 年度事業報告、令和 5 年度事業計画、減免認定団体の審査

第 2 回 開催日 令和 5 年 11 月 6 日（月）

内 容 減免認定団体の審査、総合 VC4～10 月事業報告、今後の事業予定

(4) 災害への対応

① 福井市災害ボランティアセンター連絡会への参画

ア 連絡会への参画

- 第1回 開催日 令和5年6月8日(木)
内 容 令和4年度事業報告と令和5年度事業計画、令和5年度災害ボランティアセンター訓練について 他
- 第2回 開催日 令和5年11月14日(火)
内 容 訓練等の結果について、各団体からの活動報告
- 第3回 開催日 令和6年3月1日(金)
内 容 令和5年度事業報告と令和6年度事業計画(案) 他

イ 研修会への参画

- 第1回 開催日 令和5年5月20日(土)
内 容 構成団体と福井青年会議所を対象としたセンター運営研修
会 場 福井市総合ボランティアセンター研修室
- 第2回 開催日 令和6年3月1日(金)
内 容 福岡県社会福祉協議会から学ぶICT等を活用した災害ボランティアセンターにおける情報発信の意義について
会 場 福井市総合ボランティアセンター研修室

② 勝山市災害ボランティアセンターへの職員派遣(実人員2名)

派遣期間: 令和5年7月17日(月)

活動場所: 勝山市災害ボランティアセンター(健康福祉センターすこやか)

活動内容: 災害ボランティアセンターの運営

③ 令和6年能登半島地震への対応

ア 現地社協の業務応援

輪島市社協(事務局職員2名派遣)

派遣期間: 令和6年2月7日および3月24日~29日

活動場所: 輪島市社協本所、門前支所など

活動内容: ニーズ把握、災害ボランティアセンターの運営

金沢市社協(事務局職員12名派遣)

派遣期間: 令和6年3月14日(木)~31日(日)

活動場所: 金沢市内のみなし仮設住宅入居者宅

活動内容: ニーズ把握

イ 現地児童クラブの業務応援(事務局職員1名派遣)

派遣期間 令和6年2月19日(月)~22日(木)

活動場所 七尾市内の児童館

業務内容 子どもの居場所支援(児童健全育成推進財団のプロジェクト)

ウ 支援物資の受け渡し(事務局職員1名対応)

対応日 令和6年1月19日(金)

行 先 金沢市額谷ふれあい体育館

業務内容 本会でお預かりした支援物資を金沢市社協と相談の上、届けた

エ 石川県から福井市に避難生活を送られている方への支援

福井市で避難生活を送られている方へのサロン（お楽しみ企画）を2月29日（木）～3月11日（月）に4回開設した。福井の歴史や街の見どころ、おなかの健康、音楽、ハンドマッサージなどで楽しんでいただいた（延べ20名参加）また、福井市で生活されている間も故郷の情報を把握していただくため、滞在先に、「北國新聞」（石川県の地方紙）を提供した（2月16日～3月31日）

5 共同募金配分金事業

福井市共同募金委員会からの助成を受け、市社協で広報啓発事業や見守り支援事業、地区社協では地域福祉活性化事業などを行った。

（1）広報啓発事業

- ① 社協だより「まごころ」の発行
年4回 各82,500部（全戸配布）
- ③ ボランティア情報紙の発行
回数 年5回発行 ※5回中、4回分を発行
部数 3,000部×1回、3,600部×4回

（2）見守り支援事業（8～9ページ参照）

- ① 福祉委員設置助成
福祉委員設置地区 49地区（1,590名）
福祉委員活動推進費補助 1名につき2,000円
- ② 福祉委員スキルアップ研修会の開催
※講師の体調不良により中止
- ③ 福祉委員インタビュー動画の制作 【活動計画No.14】
※詳細は9ページに掲載
- ④ 福祉委員ハンドブック作成
福祉委員一斉改選に向けて、福祉委員ハンドブック3,000部を作成した。
- ⑤ 地域支え合いマップ作成
地区の要望に応じて、地域支え合いマップを作成した。
- ⑥ オープンサロンふらっとベルの開催
※詳細は12ページに掲載

（3）地域福祉活性化事業助成 673,400円
前々年度大口募金実績額に基づき、地区社協に助成した。

（4）歳末たすけあい配分金事業

- ① 障害者ふれあい交流事業助成
- ② 地域支え合いマップ作成（再掲）

(5) 緊急災害援護配分金
50,000 円 (住宅全焼見舞金 10,000 円×3 件、死亡見舞金 20,000 円×1 件)

(6) 災害義援金
23,109 円 (令和 5 年 5 月能登地方地震災害義援金)
150,000 円 (令和 5 年 6・7 月大雨災害義援金)
1,404,349 円 (令和 6 年能登半島地震災害義援金)

6 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者等に対し、福祉サービス利用援助、日常的金銭管理及び書類等の預かりを行い、判断能力に不安のある方々の地域生活を支援した。精神障がい者や触法障がい者、認知症の親と知的（精神）障がい者の同居世帯に対する相談支援等、複合的に課題を抱えた困難ケースについても関係機関と連携して対応した。

(1) 利用状況

① 契約件数累計 621 件(うち令和 5 年度の新規契約件数 30 件)

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計 (前年度)
350 件	105 件	157 件	9 件	621 件(591 件)

② 現利用者件数 142 件 (令和 6 年 3 月 31 日現在)

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計 (前年度)
46 件 (25)	36 件 (9)	59 件 (27)	1 件 (0)	142 件(141 件)

※利用者のうち、生活保護受給者 61 名 (43%)

※ () 内は生活保護受給者

(2) 相談状況

本事業の利用に関するもの				合計 (前年度)
認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	
1,498 件	661 件	1,521 件	14 件	3,694 件 (3,521 件)

(3) 成年後見制度への移行状況

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計 (前年度)
0 件	2 件	1 件	0 件	3 件 (6 件)

(4) 広報啓発活動

社協だより「まごころ」及び本会ホームページに事業広報を掲載した。

7 生活福祉資金貸付事業

所得の少ない世帯、障がい者や介護を必要とする高齢者がいる世帯を対象に、総合支援資金や福祉資金、教育支援資金等の生活福祉資金貸付制度に関する相談を受けた。

7月より緊急小口資金等特例貸付の借受人に対して、フォローアップ支援を行った。

1月に発生した能登半島地震の被災世帯に対する特例貸付の相談に対応した。また、県社協による滞納案件の償還指導等に協力した。

(1) 本則貸付

相談件数	延べ	239件	(前年度	244件)
申請件数	延べ	16件	(前年度	20件)
貸付件数	延べ	12件	(前年度	17件)
(内訳) 総合支援資金		0件	(前年度	0件)
福祉資金		6件	(前年度	3件)
緊急小口資金		4件	(前年度	9件)
教育支援資金		2件	(前年度	5件)
貸付総額		4,735,500円	(前年度	5,499,000円)

(2) 能登半島地震(緊急小口資金)特例貸付

相談件数	3件
申請件数	3件
貸付件数	3件
貸付総額	300,000円

(3) 緊急小口資金等特例貸付のフォローアップ支援

支援内容	延べ件数(単位：件)
償還免除	182件
償還支払猶予	392件
償還手続き	253件
償還相談	848件
借受人の生活状況の聞き取り	853件
合計	2,528件

8 法人後見事業

本会が法人として成年後見制度に基づく成年後見人等を受任し、判断能力が不十分な方の財産管理や身上監護を行った。

(1) 利用状況

現受任件数 3件(令和6年3月31日現在)

成年後見	保佐	補助	合計
2件	1件	0件	3件

(令和5年度の新規受任はなし)

(2) 相談件数 6件(前年度8件) ※一般的な制度についての相談、受任に関する相談等

9 ふくい嶺北成年後見センター

成年後見制度の利用促進にかかる地域連携ネットワーク作りの中核機関として、ふくい嶺北圏域7市町（福井市・勝山市・鯖江市・永平寺町・池田町・南越前町・越前町）から共同で委託を受け、運営した。

(1) 相談業務（二次相談窓口）

- ① 市町別相談件数 延べ人数 435名（前年度309名）、実人数 189名（前年度127名）
※（）は前年度の数字

市町内訳	福井市	勝山市	鯖江市	永平寺町	池田町	南越前町	越前町	その他
延べ人数	355名 (201名)	5名 (4名)	26名 (30名)	7名 (7名)	4名 (7名)	4名 (1名)	23名 (35名)	11名 (24名)
実人数	143名 (92名)	4名 (4名)	18名 (10名)	4名 (1名)	3名 (3名)	3名 (1名)	7名 (6名)	7名 (10名)

②相談者種別（初回のみ）189名

相談者	人数
行政	54名
親族	53名
地域包括	25名
ケアマネジャー	15名
病院	11名
障がい相談支援事業所	7名

③相談内容種別（1回の相談に複数計上あり）

内容	人数
制度利用検討	189名
不安の解消	124名
制度説明	94名
申立て手続き支援	73名
権利擁護支援・意思決定支援	22名
専門職後見人支援	10名

(2) 適正運営委員会の開催（受任候補者の調整）

開催日 毎月第3水曜日 14:00～16:00

取扱件数 39件（前年度27件）

※（）は前年度の数字

市町内訳	福井市	勝山市	鯖江市	永平寺町	池田町	南越前町	越前町
弁護士	10件 (7件)	0件	0件	0件	0件	0件	0件
司法書士	7件 (5件)	1件	0件	1件	1件	0件	0件
社会福祉士	12件 (12件)	0件 (2件)	3件 (2件)	0件	0件	0件	2件
法人後見	0件	1件	0件	0件	0件	0件	0件

※複数推薦した事案があるため、職種ごとの合計と取扱件数は一致しない。

(3) 普及・啓発

出前講座 28回（昨年度10回）（延べ参加者数 661名 昨年度231名）

普及啓発イベント 成年後見制度講演会・相談会（8月26日鯖江市文化の館）

講演会の様子をYouTube「ふくみんチャンネル」で配信

リーフレットの作成 15,000部

(4) 担い手の育成

①市民後見人

市民後見人養成講座説明会 7月25日(火) 参加者39名
市民後見人養成講座 10月5日(木)～11月30日(木)計8日間
受講申込 14名 講座修了 13名
市民後見人バンク登録 12名

②法人後見

法人後見の立ち上げに関する相談 2法人

(5) 地域連携ネットワークづくり

ふくい嶺北成年後見制度利用促進連携協議会	令和5年8月29日
家事関係機関と家庭裁判所との連絡協議会	令和5年12月11日
令和5年度 福井県成年後見制度利用促進ネットワーク会議	令和6年3月19日

Ⅲ 子ども・子育て支援事業

< 拠点区分3 >

1 児童館事業

地域における児童健全育成の活動拠点としての機能強化を図るため、全児童館において土曜日を中心に季節行事、伝統行事及び地域と連携した行事、運動スポーツ、造形創作を年10回以上実施した。

また、児童館だよりの自治会回覧や児童館ホームページを通じて児童館の周知を図った。(※★は、げんキッズ育成事業でも実施)

(1) 児童館の管理運営 (合計 24 館)

資料6参照

つばき、ひまわり、さざんか、とちのき、もくせい、とまと、すいせん、すずらん、ふじ、もみじ、こすもす、くすのき、たちばな、たんぽぽ、すみれ、どんぐり、くるみ、つくし、すぎのこ、まきやま、たけのこ、さくらんぼ、ちゅうりっぷ、まつのき

- ① 職員体制 館長 24 名、児童厚生員 48 名
- ② 開館日 月～土曜日(日曜日、祝日及び年末年始は休館)
- ③ 開館時間 12:00～18:00 (長期休業中は 8:30～18:00)
- ④ 利用者数 延べ 256,783 名 (前年度 245,379 名)
 - (内訳) 一般来館者数 延べ 32,783 名 (前年度 21,307 名)
 - 放課後児童クラブ利用児童 延べ 224,000 名 (前年度 224,072 名)
 - 地域連携行事参加者数 延べ 40,014 名 (前年度 37,692 名)
- ⑤ ボランティア活動者数 延べ 364 名 (前年度 391 名)

(2) 児童館運営委員長会議 ★

開催日 令和5年7月3日(月) 13:30～15:00

会場 福井市民福祉会館4階 ボランティアルームA

内容 運営委員会の役割について、令和4年度事業実施状況、令和5年度事業の取り組みについて、これからの児童館事業について、運営に関する質問・意見について

(3) 児童館長会議の開催 (6回) ★

開催日 令和5年4月25日(火)、6月13日(火)、9月12日(火)、
10月31日(火)、

令和6年1月23日(火)、3月5日(火)

(4) 児童館職員研修の実施 ★

① 児童館長研修会

開催日 令和5年6月20日(火)

会場 福井市民福祉会館4階 ボランティアルームA

内容 カスタマーハラスメントの対応について

講師 オフィス・マインドルージュ

コミュニケーション改善コンサルタント

藤田 由美子氏

参加者 館長 28 名

② 児童館長研修会 ★

第1回 開催日 令和5年9月12日(火)
会場 福井市民福祉会館4階 ボランティアルームA
内容 児童虐待防止出張講座 児童虐待の現状と対応
講師 市子ども福祉課 副主幹 中嶋のり子氏
参加者 館長28名

第2回 開催日 令和5年10月31日(火)
会場 福井市民福祉会館4階 ボランティアルームA
内容 障がい児福祉サービスについて
講師 福井市障がい者基幹相談支援センター
木津氏、坪田氏
参加者 館長28名

③ 児童館職員現任研修会 ★

第1回 開催日 令和5年7月18日(火)
会場 福井県社会福祉センター 体育館
内容 救急救命講習会
講師 日本赤十字社 福井県支部 赤十字講習指導員
木下 新一 氏他1名
参加者 館長、厚生員、支援員57名

第2回 開催日 令和5年10月10日(火)
会場 福井市民福祉会館2階 小ホール
内容 講義「親から信頼される・求められる児童クラブ」
講師 福井県立大学 看護福祉学部 社会福祉学科
教授 吉弘 淳一 氏
参加者 館長、厚生員76名

第3回 開催日 令和5年11月9日(木)
会場 福井市民福祉会館2階 小ホール
内容 講義「多様な子どもの育ちを支える」
講師 福井大学 教育・人文社会系部門
教員養成領域 発達科学講座
教授 廣澤 愛子 氏
参加者 厚生員 53名

第4回 開催日 令和5年11月21日(火)
会場 福井市民福祉会館2階 小ホール
内容 講義「こどもまんなか社会の実現に向けて期待される児童館の役割」
講師 一般財団法人児童健全育成推進財団
業務執行理事 依田 秀任 氏
参加者 館長、厚生員 79名

(5) 児童館事業の広報活動 ★

- ① 児童館だよりの自治会回覧
- ② 市社協ホームページで各児童館活動紹介
- ③ 児童館のしおり「みんなで遊びにいこうよ！」発行
- ④ 保健衛生推進員を通じた子育てひろばチラシの配布

(6) 施設の修繕 ★

もくせい児童館防球ネットワイヤー取り替え工事他 17件

(7) 児童館利用者アンケートの実施 ★

一般来館の利用児童及びその保護者に、児童館利用についてのアンケートを行った。

実施期間	令和5年10月5日～12月28日
回答数	児童館利用児童 327名
	児童の保護者 52名
	子育てひろば保護者 58名

(8) 児童館ホームページのスマートフォン対応サイトの構築

児童館活動を広く住民に周知・啓発するためスマートフォン対応版のサイトを構築した。

(9) げんキッズ育成事業の運営

小学校の余裕教室を活用して学校内で児童館事業を実施し、小学生を対象とした地域の放課後の居場所づくりを行った。

- ① 開設場所 春山小学校「さくらじどうかん」、足羽小学校「あじさいじどうかん」、旭小学校「さつきじどうかん」、麻生津小学校「あさがおじどうかん」
- ② 職員体制 館長4名、児童厚生員8名
- ③ 開館日 月～土曜日(日曜日、祝日及び年末年始は休館)
- ④ 開館時間 12:00～18:00 (長期休業中は8:30～18:00)
- ⑤ 利用者数 延べ 45,570名 (前年度 39,896名)
(内訳) 一般来館者数 延べ 3,483名 (前年度 1,881名)
放課後児童クラブ利用児童 延べ 42,087名 (前年度 38,015名)
- ⑥ 地域連携行事参加者数 延べ 7,453名 (前年度 7,761名)
- ⑦ ボランティア活動者数 延べ 81名 (前年度 74名)

(10) 移動児童館の運営

もくせい児童館を拠点として、東足羽3地区の公民館、集会所等を利用して児童厚生員が出向いて移動児童館事業を実施した。

巡回会場	一乗、上文殊、六条
実施回数	延べ 5回 (前年度 4回)
利用児童数	延べ 125名 (前年度 53名)

2 放課後児童クラブ事業

児童館、小学校内に放課後児童クラブを開設し、保護者が共働き等の理由で放課後家庭にいない児童を預かり、生活の支援を行った。

(1) 放課後児童クラブの開設 児童館内 24 クラブ、小学校内 4 クラブ

(2) 登録児童数 1,407 名 (前年度 1,411 名)

(3) 支援員研修会

開催日 令和 5 年 9 月 19 日 (火) 10:00~11:30

会場 福井市民福祉会館 2 階 小ホール

内容 放課後児童クラブ支援員の職業倫理について

講師 仁愛大学人間生活学部子ども教育学科

准教授 青井 夕貴 氏

参加者 支援員 144 名

(4) 放課後児童支援員認定研修の受講 25 名 (累計 251 名)

(5) 障がい児等の専門カウンセラーの派遣

派遣件数 61 件 (前年度 77 件)

(6) 不審者対応

全館で緊急通報装置のメンテナンス、作動訓練

(7) 令和 6 年度の入会希望児童の調整

つばき児童クラブ (社南地区)、さざんか児童クラブ (木田地区) において、定員を上回ったため、入会の抽選を行った。抽選を外れた児童は、同校区内の他の児童クラブに入会した。

3 子育てひろば事業

児童館で、乳幼児とその家族の方々の遊びの場、交流の場として子育てひろばを開催した。

(1) 開催日 毎週木曜日 10:00~11:30 (小学校の長期休業期間は除く)

(2) 開催数 1,157 回 (前年度 995 回)

(3) 利用者数 5,708 名 (前年度 3,997 名)

IV 駐車場運営事業

< 拠点区分4 >

福井市毛矢3丁目7番4号の土地を貸駐車場 (5台分) として賃貸した。

駐車場賃貸収入 5台分 240,000円 (前年度(令和4年度) 240,000円)

V 自動販売機設置運営事業

< 拠点区分5 >

福井市民福社会館内2台(4階ボランティアルームの自販機は、11/16に撤去)
売上 154,574円(前年度(令和4年度) 144,284円)

上記のほか、株式会社ウララコミュニケーションズ、湊公民館、啓蒙公民館、株式会社カワカミパワーシステムの4ヶ所に自動販売機を設置いただき、売上の一部33,937円を寄附していただいた。

VI 関係機関団体への支援・協力

1 各種委員会・会議への参加協力(出席者)

- ・福井県社協副会長(会長)
- ・福井県内社協会会長会監事(会長)
- ・福井県共同募金会理事(副会長)
- ・福井県共同募金会配分委員会委員(副会長)
- ・福井県福祉人材センター運営委員会委員(事務局長)
- ・福井市交通安全対策協議会委員(会長)
- ・福井市国民保護協会委員(会長)、幹事(事務局長)
- ・福井市防災会議委員(会長)、幹事(事務局長)
- ・福井市社会福祉審議会委員(会長、総務企画課長、地域福祉課長)
- ・「社会を明るくする運動」福井市推進委員会委員(会長)
- ・公益財団法人福井市ふれあい公社評議員(会長)
- ・公益財団法人ふくしん地域振興協力基金評議員(会長)
- ・公益財団法人歴史のみえるまちづくり協会評議員(会長)
- ・青少年育成福井市民会議監事(副会長)
- ・福井刑務所視察委員会委員(副会長)
- ・福井市民生委員推薦会委員(理事)
- ・福井市国民健康保険運営協議会委員(理事)
- ・福井県共同募金会福井市共同募金委員会運営委員(専務理事)
- ・福井市不死鳥のねがい推進協議会常任委員(専務理事)
- ・福井市明るい社会づくり推進協議会常任理事(専務理事)
- ・福井市功労者選考委員会委員(評議員)
- ・福井市中央公民館運営審議会委員(事務局長)
- ・福井市災害ボランティアセンター連絡会座長(事務局長)、委員(地域福祉課担当職員)
- ・福井市障がい者自立支援協議会委員(事務局長、地域福祉課GL、地域福祉課職員)
- ・福井市成年後見制度利用促進連携協議会委員(事務局長)
- ・福井市要保護児童対策地域協議会委員(総務企画課長、総務企画課担当職員)
- ・福井市地域共生社会推進代表者会議委員(地域福祉課長)
- ・福井市地域包括ケア推進協議会委員(地域福祉課長)
- ・福井市健康づくり推進協議会委員(地域福祉課長)
- ・福井市障がい者施策推進協議会委員(地域福祉課長)
- ・福井市障がい者差別解消支援地域協議会委員(地域福祉課長)
- ・福井市放課後子ども総合プラン運営委員会委員(総務企画課GL、児童館長)
- ・福井市児童クラブ連絡協議会理事(総務企画課GL)

- ・福井市総合ボランティアセンター運営委員（地域福祉課 GL）
- ・福井市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会委員（地域福祉課 GL）
- ・福井市障がい者虐待防止ネットワーク運営委員会委員（地域福祉課 GL）
- ・福井市自殺対策協議会（地域福祉課 GL）
- ・福井市空き家対策協議会委員（地域福祉課 GL）
- ・福井市認知症施策検討委員会委員（地域福祉課職員）
- ・福井市介護予防・生活支援サービス検討委員会委員（地域福祉課職員）
- ・福井市都市計画マスタープラン等策定委員会委員（地域福祉課職員）
- ・福井市消費者センター運営協議会委員（地域福祉課職員）
- ・福井県内社協職員協議会役員（地域福祉課職員）
- ・ふくい桜マラソン実行委員会委員（会長）

2 後援・共催事業

- ・みんなで舞台に立とう!! シーズン 18 ～We' re good to do!～
- ・第 57 回全国ろうあ者体育大会
- ・第 26 回 福井シルバーバレーボール交歓全国大会
- ・オーケストラ・アンサンブル金沢「ふれあいコンサート」福井公演
- ・日本福祉大学セミナー
- ・令和 5 年度 福井市空き家無料相談会
- ・第 10 回 足羽川ふれあいマラソン
- ・コンテポラリーダンスをおどってみよう」
- ・Deco と Boco ぎゅっとあわせて 14 人の夢と希望 since2016 Vol.5
- ・第 64 回 福井市あじさい元気クラブ大会
- ・第 4 回ふくい終活フェア
- ・令和 5 年度 第 22 回福井市医師会市民公開講座
- ・第 24 回 福井県障がい者ハートフル文化祭
- ・福井市権利擁護講演会「介護する家族が孤立しないために」
- ・第 12 回 福井県障害者・高齢者フライングディスク大会
- ・第 45 回 ユニークダンスパーティー（コンサート）
- ・第 15 回福井葵ライオンズクラブ主催 福井県障がい者水泳競技大会
- ・令和 5 年度福井市身体障害者福祉大会
- ・第 37 回 三世代合同のつどい
- ・第 7 回 あじさい元気カラオケ大会
- ・「荒野に希望の灯をともし」上映会
- ・みんなで舞台に立とう!! シーズン 19
ミッション イン ザ ジョイ ～ボクのやりたいことボクたちのできること～
- ・第 5 回 ボラ連杯レクレーションボッチャ（能登半島地震・東日本大震災チャリティー）大会

3 社会福祉援助技術現場実習等の受け入れ

- (1) 福井県立大学 1 名
令和 5 年 9 月 19 日（火）～10 月 26 日（木）
社会福祉士受験資格修得のための実習

4 県外社協との連携の推進

- (1) 福井市・富山市・金沢市社協懇談会
 開催日 令和5年12月8日(金)
 開催方法 金沢市松ヶ枝福祉館
 参加者 21名(うち、本会職員4名)
 内容 全体会と分科会
 分科会 ① 職員の人材確保・育成・定着の取り組みについて
 ② 生活支援体制整備事業の取り組みについて
 ③ 若手職員(社協に入って概ね5年以内の職員)の情報交換
- (2) 福井市・岐阜市・奈良市社協災害時における相互支援に関する協定研修会
 開催日 令和5年10月6日(金)
 開催方法 みんなの森 ぎふメディアコスモス かんがえるスタジオ
 参加者 20名(うち、本会職員4名)
 内容 第1部 講義 地域福祉の動向と市町村社協の課題
 講師 中部学院大学人間福祉学部人間福祉学科
 教授 佐甲 学 氏
 第2部 各社協の抱える課題共有と意見交換

Ⅶ 共同募金運動への協力

福井市共同募金委員会の事務局を担い、各種団体の協力を得ながら、赤い羽根共同募金運動を実施した。一般募金、地域歳末たすけあい募金の実績はいずれも、目標額に対しても、前年度実績に対しても下回る結果となった。

【一般募金】

(単位:円)

募金の種類	目標額	実績額	差異額
戸別募金	10,600,000	10,366,035	△233,965
大口募金	6,500,000	5,880,734	△619,266
街頭募金	80,000	78,722	△1,278
学校募金	700,000	432,674	△267,326
職域募金	2,350,000	1,924,169	△425,831
法人募金	1,350,000	1,176,295	△173,705
その他の募金	628,000	565,691	△62,309
合計	22,208,000	20,424,320	△1,783,680

【地域歳末たすけあい募金】

(単位:円)

募金種類	目標額	実績額	差異額
街頭募金	150,000	153,120	3,120
合計	150,000	153,120	3,120